



大学生と一緒に団地の魅力を高める
「彩が丘団地元気ベンチプロジェクト」

団地の坂道で買い物や散歩の途中に休憩している人を見かけることが多くなった。そこで、ベンチを置く取組が始まった。住民の絆を深める「彩が丘団地元気ベンチプロジェクト」である。広島工業大学の学生たちが、低木や草花のある緑地帯など団地の美しい環境を生かした素晴らしいアイデアを提案した。

- 内 容 彩が丘団地元気プロジェクト
（広島工業大学との連携）
 - ・ 大学生によるベンチのデザイン提案
 - ・ 住民アンケート
 - ・ 小学生によるベンチへのタイル貼り
- 場 所 彩が丘団地内
- 開始時期 平成26年7月
- 実施主体 彩が丘連合町内会



取組のステップ



住民の絆を深めるシンボルづくり

団地では、各家の周りの緑地帯に低木や草花が植栽され、景観の良い街並みが連なっている。一方、坂道が多く買い物帰りや散歩途中に一休みしている高齢者がいる。

そこで、住民の協力を得て、この緑地帯にベンチが置けないか、また、住民の絆を深めるシンボルづくりができないかと考え、広島工業大学の協力を得てベンチを置くことになった。



広島工業大学の学生にプランを依頼 プロジェクトが始まった

広島工業大学平田准教授のゼミの学生12人が3グループに分かれて検討を始めた。学生たちは、公園や歩道など団地内を見て回り、団地の魅力をどうベンチに結びつけるか考えた。

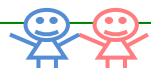
平成27年2月の発表会では、団地住民等を前に、花壇と収納の付いたベンチや緑地帯の上から座面をかぶせるベンチなど4案を提案した。



小学生が描いたタイルで彩りを

これから学生の提案をもとに団地住民にアンケートを行い製作に移る。また、ベンチの周りには、小学校の児童が描いたタイルを貼って彩りを添えることにしている。

みんなの声



〈住民〉

- ・ 団地の課題について皆で考えるいい機会になった。どんなベンチになるのか楽しみ。

〈主催者〉

- ・ 広島工業大学の学生の提案は、どれも新鮮で素晴らしい。是非、実現したい。
- ・ 高齢化が進んでいるが、団地の魅力をどう生かしていくか考えていきたい。